凡友

第56号 大阪産業大学校友会報

OSAKA SANGYO UNIVERSITY

学園創立70周年

◆次期会長・副会長選出される（任期H11、4、1～14、3、31）

●会長池田現会長を再任。副会長も全員留任。

本年3月31日をもって、任期満了に伴う次期役員選出が会則に則り行われています。

会長の選出は、1月16日の幹事会で行われ、現会長池田義隆氏再任の推薦があり、満場一致で承認されました。副会長の選出は、2月6日の幹事会において行われ、池田会長から、現副会長7名全員の留任と、新任として幹事の岡本忠温氏（S34交短運）を加え8名を推薦し、承認されました。ところが、2月8日岡本氏は急逝。その空席について池田会長は、2月13日に行われた幹事会および代議員会で、当面選出せず現在の7名で運営していくことを表明しました。

●会長・副会長以外の新役員は、次の予定で選出されます。

2月28日（日）幹事候補者受付は締切／3月13日（土）幹事会において、幹事選出／4月15日（木）代議員候補者受付締切／4月17日（土）新幹事会において、代議員選出および相談役・顧問・会計監事選出（新役員全員の紹介は秋号に掲載いたします。）

次期新会長

池田義隆氏（55歳）
S18年6月15日生。S39交短機、S52年1月校友会代議員、S53年7月幹事、S56年4月副会長、H8年4月会長、現在に至る。
（株）池田緑地設計代表取締役。

新代議員候補の受付

新しく校友会活動に積極的に参加できる代議員候補を会則に則って募っています。代議員は本会の最高議決機関です。幅広い多様な人材を募集します。

■募集要項

1. 立候補者は3名以上の会員の推薦が必要です。
2. 提出書面は校友会事務局の書式書面に限ります。（事務局に問い合わせてください）
3. 書面提出締切日平成11年4月15日（木）必着。選出は上記の書面をもとに、幹事会において下記事項などを考慮して行われます。

（1）卒業年度や学部学科等に片寄りのないようにする。
（2）全国の地域に片寄りのないようにする。
（3）定員は100名以内とする。

次期副会長

川本一雄氏（67歳）
S6年7月28日生。
S26交短運。
三軌建設（株）顧問。

大植義夫氏（62歳）
S11年12月14日生。
S38年交短自、S47交機。
大阪産業大学短期大学部助教授。

光岡明弘氏（53歳）
S20年10月31日生。
S40交短自、S43機械。
（株）光岡製作所代表取締役。

中山幸蔵氏（52歳）
S22月2月3日生。
S43交機。
（株）ビルメンテナンスサービス代表取締役。

美内照男氏（51歳）
S22年6月14日生。
S44機械。
てるてる商事代表者。

山本明氏（48歳）
S25年11月1日生。
S48経営。
（株）和歌山リサーチラボ総務課長。

高見新一氏（44歳）
S30年3月24日生。
S51土木。
大阪産業大学工学部助手。

◆第42回代議員会

●H10.11/8（日）ホテル日航大阪で開催

学園創立70周年祝賀会（10/30於都ホテル大阪）が1,800名の出席者により盛大に行われ、池田会長より「その席上で学園より本会に募金感謝状と記念品が贈呈された」と報告がありました。

そして記念募金の状況、名簿（平成11年10月発行予定）、会報「凡友」、支部活動「柏原支部が大阪中・南河内支部として設立。（10/4）大阪泉州支部（10/15）が設立。海外に台湾支部（平成11年5月頃）設立予定。（仮称）周年会館（平成13年完成予定）に新しい校友会事務室として入居予定などの報告と挨拶がありました。

議長に幹事の福井義員氏（S52土木）、副議長に代議員の正岡俊彦氏（S37交短自）を選出し、議事に入りました。

● 議事について

（1）平成9年度事業報告

光岡副会長より、事業報告と活動報告。

（2）平成9年度会計報告

高見副会長より、平成9年度一般会計と特別会計、財産目録について説明がありました。

（3）平成9年度会計監査報告

梅田会計監事より「監査の結果会計処理は正確であり、当年度の会計収支、積立金、貯金、現金、前受金および備品は適正に表示管理され、厳正に処理されている」と報告されました。

（4）その他

大植副会長より、前回代議員会において質疑があった案件について返答をされました。

（1）（2）（3）議事について承認されました。

◆第43回代議員会

●2/13（土）ホテルグランヴィア大阪で開催

司会の今村幹事の開会宣言でスタート。そして、池田会長の挨拶に続き、議長に幹事の森本克彦氏（S35交短運）、副議長に代議員の鮫島好徳氏（S42産短自）を選出しました。

（池田会長挨拶要旨）

「母校では、昨年学園創立70周年を迎え、各種記念事業を滞りなく終えられ、さらなる飛躍に向けて出発されたことは、ご同慶のいたりであります。学園最大の団体である校友会は、記念募金にも積極的に取り組みました。それによって、会員各位・支部の協力と、特に代議員会のご理解を得て本部の特別会計を取り崩し、2月10日現在、1億4,223万5千円となっています。

今後の取り組みとして、●5月には待望の海外支部「台湾支部結成総会」開催の予定。●10月には、4年ぶりに全会員名簿発行。●11月3日は、平成11年度総会を4年ぶりに母校で開催。●来年本会発足30周年を迎えるに当たり、準備の年として記念行事などの検討を進める。●支部未結成地域の支部設立に取り組む。●引き続き会則の整備に取り組む。などを考えています」。

●議事について

活動報告（3ページ掲載）は、光岡副会長。平成11年度予算案（3ページ掲載）は高見副会長。次期役員選出について（2ページ掲載）は、池田会長・大植副会長の各氏より説明。審議の結果、全案拍手で承認されました。

●中山常務理事講演・母校の現況と将来像を語る

学園幹部を招いて“母校の現況と将来像について”直接聞きたいという希望が校友会役員からありました。それに加え卒業生の支援で、学園作りを行っていきたいという学園の願望が合致。久方ぶりにご多忙中の学園常務理事中山英明先生にお話をうかがうことができました。

代議員各位は、今日の母校の姿や将来像について、万感の思いで拝聴しました。

◆平成10年度総会・パーティー開催　ホテル日航大阪（11/8）

池田会長の挨拶に続き、古谷理事長、天野学長より祝辞をいただき、里相談役の発声で乾杯！総会パーティーの開幕です。

古谷理事長より池田会長に70周年記念募金の感謝状の贈呈がありました。

大阪中・南河内支部に支部旗の贈呈が行われ、その後大学のチアリーダー達の素晴らしい演技でパーティーは一気に盛り上がりをみせました。恒例の福引き大会では、各支部の名産品が次々と抽選されて、一喜一憂の雰囲気の中で無事閉会いたしました。次回の総会パーティーには、もっと多くの参加者が来られることを希望しています。平成11年度総会パーティーは大学で開催いたします。

◆第12回支部長会

2/14（日）、ホテルグランヴィア大阪で開催、各地支部総会、若い会員の不参加に悩む！

代議員会の翌日、支部総会を開催しました。全国32支部の内29支部代表者と、会長・副会長他本部役員総勢45名出席。支部推進部長福井幹事の司会で進行し、それぞれ支部の抱える問題点など、活動・運営について活発な意見交換が行われました。

◆平成11年度予算（自H11.4.1～至H12.3.31）

● 一般会計

（単位：千円）

収入の部	一般管理費	事業費			
	総務部	運営部	編集部	支部推進部	合計
前期繰越金	0				0
校友会費	87,000				87,000
会費収入	48	600			648
雑収入	100	200			300
合計	87,148	800	0	0	87,948

支出の部	一般管理費	事業費			
	総務部	運営部	編集部	支部推進部	合計
会議費	3,300	2,590	350	990	7,230
総会費		3,000			3,000
通信費	660	120		30	810
印刷費	270	310		200	780
会報費			16,460		16,460
備品費	100				100
旅費交通費	1,320	2,150	700	3,760	7,930
慶弔費	300				300
消耗品費	350				350
会員名簿費			3,870		3,870
記念品費		5,640		180	5,820
助成金		2,700		7,590	10,290
広報費				0	0
人件費	2,400				2,400
雑費	400	50	50	50	550
賃借費	630				630
福利費	200				200
予備費	6,328	900			7,228
小計	16,258	17,460	21,430	12,800	67,948
特別会計へ繰入	20,000				20,000
合計	36,258	17,460	21,430	12,800	87,948

● 特別会計（財政安定化基金）

収入の部	（単位：円）
平成9年度繰越金	356,094,461
平成10年度繰入金（9年度一般会計剰余金）	17,281,027
平成10年度受取利息（見込み）	3,070,000
学園創立70周年記念事業募金支出分（平成10年6月）	△100,000,000
小切手発行手数料	△1,050
平成11年度繰入金（10年度一般会計剰余金見込み）	10,000,000
平成11年度繰入金（11年度一般会計予算案より）	20,000,000
平成11年度受取利息（見込み）	2,210,000
計	308,654,438

支出の部	
	0
計	0

平成12年3月31日現在残高（予定）　308,654,438

学園創立70周年記念募金

校友会　累計　1億4223万5千円
学園全体　累計　9億3352万1千円
平成11年 2月10日現在

記念募金ご賛同ありがとうございました。前号（55号）では、平成10年9月10日現在の累計をご報告しました。9月11日から、平成11年2月10日まで、137万5千円の募金をいただき、累計1億4223万5千円となりました。

平成10年9月11日から、平成11年2月10日までのご芳名を掲載させていただきます。なお、校友会からの記念品は、先日お送りさせていただきました。

中谷嘉男／泉暢英／柴田栄久／宿典泰／田村謙介／中川健治／八幡健二／山本秀雄／松田始／石田秀雄／橋明弘／山本明／吉内秀徳

※ 学園教職員の方は除いています。

●校友会の団体

福井県支部／校友会総会／大阪北河内支部

校友会活動報告（H10.9.20～H11.2.15）

●平成10年

9月30日（水）運営部会（校友会事務室）
10月 2日（金）編集部会（校友会事務室）
4日（日）大阪中・南河内支部設立総会（サンヒル柏原）
8日（木）支部推進部会（校友会事務室）
17日（土）幹事会（ホテル日航大阪）
20日（火）会報「凡友」55号発行
24日（土）福井県支部総会（福井駅ビル）
30日（金）会長・副会長会（ホテルエコーオーサカ）
31日（土）大分県支部総会（ホテル清風）
11月 1日（日）大阪北河内支部総会（大学14号館）
8日（日）第42回代議員会（ホテル日航大阪）
8日（日）平成10年度総会（ホテル日航大阪）
15日（日）大阪泉州支部設立総会（朝日プラザホテルアニュミニティー堺）
21日（土）鹿児島県支部総会（グリーンホテル・錦生館）
12月 3日（木）運営部会（校友会事務室）
7日（月）支部推進部会（校友会事務室）
12日（土）幹事会（ホテルエコーオーサカ）
22日（火）編集部会（校友会事務室）

●平成11年

1月14日（木）編集部会（京橋いごっそう）
16日（土）幹事会（ホテルエコーオーサカ）
17日（日）徳島県支部総会（リゾートホテルモアナコースト）
23日（土）大学支部総会（東天紅大阪天満橋OMM店）
30日（土）会長・副会長会（花和清）
附属高校同窓会と懇談会（花和清）
2月 6日（土）幹事会（ホテルエコーオーサカ）
13日（土）幹事会（ホテルグランヴィア大阪）
第43回代議員会（ホテルグランヴィア大阪）
14日（日）第12回支部長会（ホテルグランヴィア大阪）

CONTENTS

- 新会長・副会長選出 …… 2～3
  [新代議員候補者の受付、42・43回代議員会報告、平成10年度総会パーティー報告、平成11年度予算、記念募金、校友会活動報告]
- 校友の広場 …… 4～5
- 先生お元気ですか！、チャイム …… 6
- 凡友旅に出る[筑波山を訪ねて] …… 7
- 校友の活躍ぶり拝見[（財）日本自動車研究所] …… 8
- 大学紹介[工学部土木工学科、芹生先生退職記念パーティーのお知らせ] …… 9
- 学園だより …… 10～11
- 支部のレポート …… 12～13
  [京都府、大阪中・南河内、福井県、大分県、大阪北河内、大阪泉州、鹿児島県、徳島県、大学]
- 私たちがんばりました …… 14
- お知らせのページ、スイート・カップル、編集後記 …… 15

校友のひろば

■柔道部創部30周年記念式典・祝賀会を開催

柔道部では、平成10年10月18日、大学構内柔道場および14号館10階ラウンジを会場に、創部30周年記念式典・祝賀会を約70名の出席者を集めて開催しました。

第1部の式典では、古谷理事長（関西学生柔道連盟会長）、天野学長らのご祝辞のあと、OB対現役の記念試合を行いました。OBチームには、大阪府警機動隊や奈良少年刑務所で今なお現役選手として活躍している猛者も出場。現役部員もびっくりのパワーで後輩をねじ伏せる場面もみられました。結果は、4回生が加わったOBチームの1点差勝ち。

参加者全員で記念撮影

第2部の祝賀会は、終始なごやかな雰囲気で進行。校友会から出席された中山副会長ら来賓のスピーチ、お世話になった先生方への記念品贈呈、昔なつかしい写真をスクリーンに映しながらの思い出話、力強い現役部員の紹介などなどが繰り広げられました。最後に柔道部恒例の柔道部歌を全員で歌い、名残りを惜しみながらお開きとなりました。

現役部員紹介・挨拶（佐藤監督・教養部講師）

70周年記念募金に快く協力（感謝!!）

（編集部　皿屋匡宏）

■25年ぶりの懐かしい再会松本ゼミOB会

平成10年11月28日に大阪府池田市の不死王閣にて機械材料（松本弘司先生）ゼミの同窓会を開催しました。昭和49年度に産大を卒業して25年余りになります。

参加してくれたのは、群馬から高都持君、金沢から中上君、愛知から国沢君、岡山から小林君、姫路から澤田君、大阪の私（田中）、友人である流体ゼミの内山君、電気ゼミの坂梨君、そして恩師の松本教授の合計9名。

遠方からの参加を呼びかけるのにはとても気がひけたのですが、みなさん快く賛同してくれました。25年余ぶりの再会は、学生の頃の思い出がよみがえるなど懐かしくもあり、楽しく、嬉々として盃を交わすことができました。翌日は、みんなで産大へおじゃまし、立派になった学園に驚いていました。学園内を散策したあと、次回の再会を誓って散会としました。

今回、公私ご多忙の中、ご参加いただきました松本教授には、心から感謝申し上げます。

（S49 機械　田中幸一）

■大産大体育会テコンドー部創部25周年記念祝賀会

我が大阪産業大学体育会テコンドー部は、昨年創部25周年を迎えました。

そこで、11月3日（火）に難波の「敦煌」にて創部25周年記念パーティーを開催しました。パーティーには顧問の斎藤日出治先生（経済学部長）、テコンドー部の後援会会長・紀伊埜本透様、テコンドー部の創立者・金本先輩をはじめ、歴代OBの方々が大勢全国からご出席。斎藤日出治先生、紀伊埜本透様、阪口晃監督、山田喜久師範、OBの方々からご挨拶をいただきました。その後は、普段なかなかお目にかかる機会の少ない先輩や同期、後輩に久々に会い、学生時代の思い出や練習での苦しかった事、辛かった事、楽しかった事など思い出話に花を咲かせました。

また、この記念パーティーにおいて、現役生の幹部交代式も執り行い、4年生が引退して3年生が新幹部に任命されました。

（3年 情報　尾崎俊昭）

参加者

テコンドー部顧問 ……経済学部斎藤教授
テコンドー部後援会 ……紀伊埜本会長
テコンドー部監督 ……阪口晃様
テンコドー部師範 ……山田喜久様
テコンドー部OB ……20名
テコンドー部部員 ……31名

■念願のⅠ部昇格を果たし、頑張ってます!!

平成7年12月9日（土）西宮球技場で京都産業大学を振り切り、念願のⅠ部昇格を果たしたアメリカンフットボール部。現在も京大、立命、関学などの強豪を相手にⅠ部リーグでがんばっています。

私は同部ヘッドコーチの西條です。平成元年に経営学科を卒業後、マイカルに入社。第一線の選手としてオハイオ大学（アメリカ）に5回留学。退職後、平成5年より母校のアメリカンフットボール部で後輩の指導をしています。現在の部員は約60名。頭脳的戦略が最大限求められ、瞬間的により正確な状況判断をしなければならないアメフット。部員がそれぞれのポジションでゲームプレイのために練習を重ねています。

みなさんも、ぜひ一度我がアメリカンフットボールの応援に来てください。

（H元経営　西條 篤）

■サッカー部創部30周年・Ⅰ部リーグ昇格祝賀会　●2/14（日）ホテルグランヴィア大阪で開催

サッカー部は、昨年創部30周年を迎えました。この記念すべき年に念願の関西学生サッカーリーグのⅠ部に昇格することができました（戦績は14ページに掲載）。

祝賀会の会場には関西サッカー協会・学園・大学・後援会・校友会の来賓と、ＯＢ・父兄・選手の総勢200名が出席。顧問・監督であり教養部教授塩谷武男先生の開会の挨拶、学園中山常務理事・天野学長・関西サッカー協会臼田理事長様の祝辞があり、藤野大学事務部長の乾杯の音頭で開宴となりました。

臼田理事長様は「試合は勝たなければならない。念願のⅠ部リーグ入りを果たしたのだからⅡ部に落ちないように…」とプレッシャーなご挨拶をされました。

●Ⅰ部リーグ校は以下の10校です。

本学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、大阪体育大学、桃山学院大学、阪南大学、近畿大学、関西外国語大学。

皆さんのご声援をお願いします。新聞などにも注目してください。

（編集部　力石卓朗）

■「ISO9000とISO14000」について母校で講演

平成10年11月に恒例となっている交通機械工学科の講演会が開催されました。今回はトップ事務機（株）社長（校友会では代議員および北河内支部役員としても活躍いただいている）奥平吉照氏（S57機械Ⅱ部）に「ISO9000とISO14000について」講演していただきました。

ISO9000は工場や事業所で良い製品を作るための品質管理システムを保証する国際規格。ISO14000は企業活動に伴う環境負荷を継続的に低減するための国際規格です。最近では非製造業や地方自治体まで導入を始めています。ISOについては単位（N,Pa等）や製品規格でおなじみ。欧米ではこれらのISO認証の取得が取引の必要条件とされる場合も多くなり、その影響で最近日本の企業においても今やその取得が必要不可欠なものとなってきつつあります。講演では、その内容について分かり易く解説していただきました。

1月下旬に奥平氏を訪ねました。その日は、名神米原ＪＣから20分、木之本ＩＣを下ると一面真っ白な雪景色でした。

会社は93年に大阪から木之本に本社を移転し、コピアの複写機とジアゾ式複写機および複写機のユニットを製造しています。

奥平氏は製造、技術の責任者として「クラス最高の品質とコスト」を目指して社内の改善及び社員教育を推進、95年にISO9002を取得。前社長の勇退後97年4月に社長に就任されました。現在でも「一人ひとりが考え、行動に移していくこと」をスローガンにカイゼンを実施。97年の一人当たりの改善件数は67.5件にも及んでいます。そして、この数字は並み居る大手企業以上であり、全国で20位にランクされています。その結果クレームは反比例的に減少し、クラス最高の品質を生みだしました。

またISO14001も97年に取得。環境に優しいとは一つに無駄なエネルギーをいかに減らすか。これがクラス最高のコストの実現にもつながるのです。この実現は、社員の指導と小さなカイゼンの積み重ねにあります。不景気という逆風の中でも確実に前進しています。

会社には奥平社長をはじめ、6名の凡友が頑張っていらっしゃいますのでご紹介します。

●吉田 茂成（S62 経営）●住川 真志（H5 交機Ⅱ部）
●北島　亮（H5 交機Ⅱ部）●岡島 宏司（H9 交機）
●北森 克己（S63入学）　（編集部　平佐多 敬二）

先生お元気ですか！

杉岡　重武先生 プロフィール

1932年12月16日生（66歳）
大阪市住之江区東加賀屋3-7-4　在住
昭和33年1月大阪交通学園書記兼大阪鉄道中・高等学校講師として奉職、昭和37年4月大阪交通短期大学教務課長補佐を兼務。昭和40年4月大阪産業大学開設と同時に教務課長、その後企画調査課長、庶務課長、管理課長、学長室事務長、入試事務長を歴任、昭和53年学園本部企画開発室長。昭和55年7月～平成5年3月まで学園理事・大学事務部長。平成5年～平成6年1月　常務理事（企画開発室長）。昭和28年交短運卒・現在校友会顧問。

1.産大での思い出

36年間お世話になったので思い出は数え切れないほどありますが、紙面の都合上、特に忘れられない、また懐かしい思い出を年代順にお話します。

時代のニーズを先取りするため、短大に自動車工業科を増設する計画が持ち上がりました。しかし、現在の産大（大東市）に校地を買収するのには、資金が不足していました。そこで、当時の監事であった上田喜三郎さん所有の京阪電鉄、敷島紡績の株を借り、それを担保に銀行から借り入れ、3,600坪（現桐蔭高校校舎と前の運動場）を確保するために、学園の各理事の会社や自宅に印鑑証明をいただきに上がったものです。いろんな申請書類は林大行先生と殆ど2人で徹夜で作成したことが、懐かしく思い出されます。

産大の設置申請で、名称を大阪交通大学、大阪産業大学、生駒大学、阪奈大学など色々と委員会で論議されました。しかし、申請期限も迫っており「将来は名称変更もありうる」という条件で、まず「大阪交通大学」として申請書を提出。ところが、現在の大阪体育大学が2年後には経済学部を増設する予定で、すでに、大阪産業大学の名で申請されており、大変びっくり。文部省の課長さんと相談したところ「両大学でよく話し合ってくれ」とのことでした。私は小倉事務局長にお供して、当時、浪商学園の理事長であった野田三郎氏に面会。事情を説明させていただくことになりました。そして「大阪産業大学の名称を本学に便わせてほしい」とお願いしたのです。野田先生は「瀬島源三郎先生には大変お世話になっているから」と快く了解してくださいました。これは大変うれしい思い出です。

「凡友」各号で何人かの先輩も書かれていましたように、昭和45年～46年の学園紛争は生涯忘れることのできない思い出の一つです。紛争後に知って驚いたのは学園全体の年間収入は約9億円。負債総額は銀行の借入金、私学振興財団の借入金、それに職員から徴収した所得税の未納金、共済組合の掛け金の未納金を含め約21億円余り。一般企業であればとっくに倒産しても仕方がない状態だったでしょう。

昭和46年8月、文部省と私学振興財団へ学園再建5カ年計画書を提出しました。これは主に大西常務理事、三原財務部長が作成されましたが、文部省と私学振興財団も「絵に描いた餅になるのではないか」と全く信用されなかったようです。後に聞いたところでは東京の某大学と、関西の某大学に、財団の役員が勝手に吸収の話を打診していたとのことで、非常に驚きました。そんなことになっては困ります。そこで、毎日の勤務が終わってから高校同窓会役員、校友会役員さんの自宅を訪問しました。午前0時過ぎ阪奈自動車教習所の横でラーメンを食べて、三省寮で寝たことがいまだに思い出されます。

学園が立派に再建され、今日のように発展したことは、大学の教職員の協力的な理解が得られたからこそと確信しています。昭和48年4月からの新入生の授業料の値上げだけでは産大の発展は望めないと思い、当時全国で3、4の大学でしか実施していなかった授業料のスライド制の導入を進言し、大学教授会で承認され実施したことは今でも強く印象に残っています。

2.現在の生活と趣味

退職後は店（たばこ・日用品等を販売）をしながら健康を保つため、昼は週2～3回プールに通っており、夜はストレス解消も兼ねて月に5～6回カラオケを楽しみにいっています。また、ボランティアとして地域の社会福祉協議会や町会のお世話をさせていただき、色々と忙しい毎日を送っています。

（編集部　高見 新一）

チャイム [Chime]　不用品のリサイクルで、ボランティア活動を!!

大阪市内のある小学校が廃校になりました。少子化の影響でしょう。教室の中に入ってみるとパイプ式の机や椅子が、今でも、かわいい子供たちを待っているかのようです。理科室にはこどもの頃怖かった人体模型があり、一緒に行った息子も少し怖がっていたようです。

沢山の本が部屋の片隅でほとんどゴミ同然のように山積みされていました。もったいないと思いつつどうすることもできません。ある方の働きでこれらの品物をすべて外国の小学校に寄付をするということになり、大きなコンテナで運ぶそうです。コンテナの中には、真新しいロッカーや子供たちが使っていた机、椅子、書棚やオルガンなどほとんど全てのものがすき間なく運び込まれました。運搬作業に参加して色々な話を聞く中で、今も世界中で勉強道具を欲しがっている子供たちがたくさんいることや、日本国内でこれらの品物を単にゴミとして処分されていることを知りました。

少しのお金とボランティアの協力があれば、今までゴミとしていたこれらの大切な品物を、十分に活用することができます。頭の中で分かってはいても行動が伴わない一人の日本人としての自分がいることを思い知らされました。お手伝いした国の名前はスリランカです。みなさまのご協力をお待ちしています。　（A&A）

凡友旅に出る

TUKUBASAN 筑波山を訪ねて!!

1.がまの油売り口上

♪さーさーお立ち会い。ご用とお急ぎのない方はゆっくりと聞いておいで。遠出山越え傘の内、きかざるときは物の出方善悪あいろがとんとわからない。(中略)

♪さーてお立ち会い。手前ここにとりいだしたるは筑波山名物陣中膏（軍中膏）はがまの油だ。がまといっても，縁の下や流しもと、そんじょそこらにおるがまとはがまがちがう、そんなものには薬石効能がない。

手前のは四六のがまだよ、四六のがま。四六五六はどこで見分ける？。前足の指が4本、後ろ足の指が6本、名付けてひきせんそうは四六のがまだ。このがまのとれるは五月、八月、十月なるをもって名付けて五八十は四六のがまともいう。いつでもとれると言うわけには参らぬ。さあてこのがまのすむところはこれよりはるか北の方、北は常陸の国筑波の郡、古事記万葉の古よりうたわれました、「筑波嶺の峯より落つる男女の川恋いぞつもりてふちとなりぬる」関東の霊峰、筑波山のふもとに生えているオンバコという露草を食らって育ちまする。

♪さあーて、このがまから油をとるにはどうするか！　山中深く、木の根草の根分け入って捕らえきましたるこのがまを、四面に鏡をはりその下に金網鉄板をしき、その箱の中にがまを追い込む。さあ、がんま先生己のみにくい姿が四方の鏡に映るのを見てびっくり仰天、ひたいよりタラーリタラリと流す冷や汗、油汗、これをば金網にすきとりまして、三七は20と1日の間、柳の小枝をもってトローリ、トロリと煮炊きしめ、赤いしんしゃに椰子油、テレメンテーナ、マンテーカ、唐天竺南蛮渡来の妙薬を練り合わせ、混ぜ合わせてこしらえたのがご存じ葵の紋は陣中膏（軍中膏）がまの油だ。(後略、

口上として文章化されたものは何種類かありますが、ここでは二つの口上を参考にして分かり易くしてみました。この後、がまの油の効能、名刀の切れ味と続き、最後に販売の口上で終ります。

(資料提供 つくば市商工観光課等)

2．筑波山

関東地方では西の富士山と東の筑波山が当地から見える霊峰として昔から崇められてきました。 筑波山は二つの峰からなり、男体山(870m)に対して女体山(876m)が少し高く、女性上位になっており、その中間の山頂駅には筑波山神社からケーブルカーにより約10分で一気に上ることができます。

筑波山神社へはＪＲ土浦駅よりバス(途中、筑波駅で乗り換え）約70分です。東京駅南口から直通バス(140分)もあります。

なお、筑波山神社は昨年のＮＨＫ大河ドラマ徳川慶喜の1シーンとして放映された天狗党旗挙げの地としても有名です。

この筑波山でもっとも有名なのが何といってもがまの油。毎年8月の第１日曜日にはがま祭りが行われています。

その昔、徳川家康の時代，光誉上人(がま上人)は大阪冬の陣で家康に随行、戦勝祈願をするかたわら、がまの耳下腺から出た白い汁(がまの油)で膏薬を作り、兵士たちの軍中救急薬として活用しました。この薬は切り傷によく効いたそうで、軍中膏と呼ばれました。写真に示す印籠はご存知水戸黄門の愛用品で、この中にはがまの油が入っていたそうです。なお、テレビ放映(TBS)で有名になったこの印籠は筑波山神社近くの土産品店で販売されています。

3.茨城県の校友

茨城県に在住する校友会員は約70名ですが、このうちタイヤショップを営む金谷修氏（S44交機）をご紹介します。

本学在学中は2部自動車部部長として活躍し、特に、産大自動車部が全日本学生自動車整備技術選手権大会において、強豪早稲田大学を押さえて優勝したときの中心人物でありました。

金谷氏は本学卒業と同時に茨城県つくば市にある（財）日本自動車研究所に入所。タイヤの研究に従事しました。

同所にて13年間勤務した後、タイヤショップ「ポニー」を開業(1983年)、事業は順調に発展しております。

写真(下)に示す「ポニー」は国道6号線に面していて、利用しやすい場所です。

日本自動車研究所でタイヤの研究をしていただけに、タイヤに関しては専門家そのもの、ここでタイヤチェンジすれば安心できるというものです。　　（編集部　大平和昭）

校友の活躍ぶり拝見

(財)日本自動車研究所で活躍する校友5名

日本自動車研究所は自動車の総合的研究を通じて、産業の発展と文化の向上に貢献することを目的として昭和44年茨城県つくば市に設立された財団であり、日本で唯一の自動車技術に関する独立した総合的な研究機関であります。約237万m²という広大な敷地内には高速周回路(長楕円形のアスファルト舗装試験路で1周5.5ｋm、高速、中速、低速の3レーンが設置され、直線部の長さ約1.5ｋm、バンク部の最大傾斜角度は45度)をはじめ、多くの試験場や研究棟が配置されております。また、そこでの研究成果は高く評価され、国内関連学会、官公庁、自動車工業界はもちろん、世界からも注目されています。

この自動車研究所は本学とのつながりが深く、初代研究所長近藤政一博士(本年2月没享年91歳)が本学交通機械工学科において教鞭をとられたこともあり、また、短期大学部の酒井秀男教授(前短期大学部部長)は同研究所第2研究部(現ダイナミックス研究部)部長として研究指導をされていました。そして、工学部交通機械工学科荒木一雄助教授もまた同研究所の研究員として活躍されていました。

●この研究所には本学卒業生5名がスタッフとして活躍、以下に各氏の活躍ぶりを紹介します。

岩井　信夫氏

●昭和45年度
交通機械工学科卒
●昭和46年4月
第1研究部
(現ｴﾝｼﾞﾝ・環境研究部)入所
●平成9年5月
ｴﾝｼﾞﾝ・環境研究部部長

昭和63年9月 北海道大学より「メタノールエンジンの燃料供給法」の研究成果が認められ工学博士となられました。

自動車技術会、日本機械学会等への研究論文発表、講演など多数あり、昭和54年には自動車技術会から論文賞を受賞。特にメタノールエンジンの研究に関しては日本における草分け的存在であり、世界的に知られた研究者。そして、環境庁から各種委員を委嘱されるなどその多忙ぶりは売れっ子タレントなみです。

山崎　均氏

●昭和45年度
交通機械工学科卒。
●昭和46年4月
第1研究部
(現ｴﾝｼﾞﾝ環境研究部)入所
現在同研究部主任研究員。

岩井信夫氏と同期にしかも同研究部に入所し、排ガス測定法の開発研究に取り組む。特にディーゼルエンジン排気に関する研究については多くの研究成果があります。ディーゼルエンジンは熱効率が高いため、その経済性の点からトラックなどに多く使用されるが、環境面では排ガス中のパティキュレート(粒子状物質)の一層の低減が望まれていることから、特にその測定法などを重視して研究しています。

大前　晴雄氏

●昭和46年度
交通機械工学科卒
●昭和47年4月
第3研究部
(現安全研究部)入所
現在同研究部主任研究員

安全研究部のプロジェクトディレクターである大前氏は、同研究部60名のスタッフを指揮監督し、日本自動車研究所で行う衝突実験では大手自動車メーカーからも一目置かれるほどの人物。

研究テーマとしては「前面及び側面衝突時の乗員保護に関する研究」、「交通事故の分析に関する研究」など自動車の衝突安全研究に重点を置いています。

岡山　功氏

●昭和46年度
交通機械工学科卒
●昭和47年4月
第2研究部
(現ダイナミックス研究部)入所
現在、同研究部主任研究員

大阪産業大学短期大学部酒井秀男教授が同研究部の部長であったときに採用され、タイヤ関係の研究を担当。その後、車両運動の実験・研究を行い、現在、ＩＴＳ(高度道路交通システム)に係わる車間距離制御、障害物検知機能の標準化研究に取り組んでいます。

研究テーマとしては「電子制御装置のフェールセーフに関する研究」、「2輪・4輪車の制動性能及び操縦性評価法に関する研究」など予防安全研究全般に視点を置いています。

相馬　誠一氏

●平成3年度
大阪産業大学短期大学部卒
●平成9年4月
エンジン・環境研究部入所

相馬氏は平成5年4月室蘭工業大学工学部機械システム工学科に編入学(大阪産業大学短期大学部では4年生大学への編入対策にも力を入れており、毎年約100名が編入学している)。そして同大学大学院博士前期課程を修了し日本自動車研究所に採用された異色の存在。

研究テーマとして「燃料性状と排出ガスの関係および低減対策の検討」などガソリンエンジン全般の環境負荷低減技術の先端的研究を行い、岩井、山崎両先輩の良き指導を受け、今後の活躍が期待されます。

(編集部 大平和昭)

大学紹介

■シリーズその3　土木工学科

土木工学科は1967年(昭和42年)4月に設置され、1988年(昭和63年)4月には大学院工学研究科土木工学専攻が開設されました。平成11年1月現在、在学生徒数は土木工学科が665名（女子42名、留学生1名含む)、土木工学専攻は24名（女子4名含む）です。

◆土木工学科の教育理念

土木工学を意味するシビル・エンジニアリングのＣＩＶＩＬとは人や文明を表す言葉。現存するすべての土木構造物は、その名の通り文明の足跡を印する歴史的遺産であり、人々の英知を集約したテクノロジーの結晶と言っても過言ではありません。

ダイナミックな革新を遂げた20世紀の土木技術を継承する学生に21世紀社会が突きつける課題は、人間社会と自然界との関係を見つめ直すこと。土木工学科では、構造物のスケールではなく、人にも環境にも優しいスピリッツを誇りにする、そんなシビル・エンジニアを育成したいと考えています。

◆カリキュラム紹介

土木工学は道路、河川、港湾、鉄道、空港、トンネル、ダム、橋梁、上下水道など。その技術領域は都市や社会生活を支える基幹事業のきわめて幅広い分野に及んでいます。そこでまず１年次に履修する土木工学概論によって土木技術の全体像を巨視的に学習。応用科目の一部を並行的に学びながら、その魅力ある工学的エッセンスを吸収していきます。また、測量学実習や数学、化学、物理などによって基礎知識を磨き、本格的な専門科目の履修にもしっかり備えます。

2年次以降の専門カリキュラムでは、より深い理解を得るためにさまざまな応用科目群を3系統に分類。学生たち自身の興味や関心、そして将来の希望する進路に直結したコース制を採用しています。

1．土質・構造系
(構造物を構築する理論学習を中心としたコース)
2．環境・水理系
(海や河川の環境保全やその計画立案を中心としたコース)
3．交通・計画系
(交通や都市の計画・調査を中心としたコース)

◆土木工学専攻

土木工学専攻では建設プロジェクトの計画・設計・施工・管理など、広範な技術分野にフレキシブルに対応できる高度な技術者の育成をめざしています。

土木工学の基礎となる計画学、構造工学、土質工学、水工学、環境工学などを基軸に、バイオテクノロジー、新エネルギー資源、新素材、メカトロニクスなどの学際領域、それに建設マネジメント工学、建設システム工学など高度情報化システムにかかわる技術分野を加え、特色あるスクーリングと高度な研究指導をおこないます。

（編集部　高見 新一）

カリキュラム

区分	開講年次	1年次	2年次	3・4年次
基礎科目	線形代数学Ⅰ・Ⅱ	●		
	微分積分学Ⅰ・Ⅱ	●		
	数学演習Ⅰ・Ⅱ	●		
	物理学Ⅰ・Ⅱ	●		
	物理学演習	●		
	物理学実験	●		
	一般化学	●		
	無機化学	●		
	有機化学	●		
	物理化学	●		
	化学実験	●		
	測量学Ⅰ・Ⅱ	●		
	コンピュータ基礎		●	
	構造力学Ⅰ・Ⅱ		●	
	水理学Ⅰ・Ⅱ		●	
	土質力学Ⅰ・Ⅱ		●	
	土木計画学Ⅰ・Ⅱ		●	
応用科目／必修・選択必修（土質・構造系）	測量学実習Ⅰ	●		
	構造力学演習Ⅰ・Ⅱ		●	
	環境工学Ⅰ		●	
	土質力学演習Ⅰ・Ⅱ		●	
	土木材料Ⅰ・Ⅱ		●	
	構造解析学Ⅰ			●
	橋梁工学Ⅰ			●
	鉄筋コンクリートⅠ・Ⅱ			●
	土質工学			●
	道路工学Ⅰ			●
	設計製図A・B			●
	土木工学実験A			●
応用科目／必修・選択必修（環境・水理系）	測量学実習Ⅰ	●		
	応用数学Ⅰ		●	
	構造力学演習Ⅰ		●	
	水理学演習Ⅰ・Ⅱ		●	
	水環境学		●	
	資源リサイクル		●	
	環境工学Ⅰ		●	
	土質力学演習Ⅰ		●	
	鉄筋コンクリートⅠ			●
	応用水理学			●
	河川工学Ⅰ			●
	海岸工学			●
	環境システム			●
	設計製図A・B			●
	土木工学実験B			●

区分	開講年次	1年次	2年次	3・4年次
応用科目／必修・選択必修（交通・計画系）	測量学実習Ⅰ	●		
	コンピュータ応用		●	
	水環境学		●	
	環境工学Ⅰ・Ⅱ		●	
	環境システム			●
	道路工学Ⅱ			●
	鉄道工学			●
	都市計画			●
	交通計画			●
	交通工学			●
	設計製図A・B			●
	土木工学実験A・B			●
	土木景観学			●
	特別講義A			●
応用科目／選択科目	土木工学通論		●	
	土木地質学		●	
	図形科学Ⅰ・Ⅱ		●	
	応用数学Ⅱ		●	
	応用測量学		●	
	測量学実習Ⅱ		●	
	構造解析学Ⅱ			●
	橋梁工学Ⅱ			●
	鉄筋コンクリート演習Ⅰ・Ⅱ			●
	河川工学Ⅱ			●
	港湾工学			●
	エネルギー施設工学			●
	地下開発工学			●
	施工法Ⅰ・Ⅱ			●
	地震工学			●
	災害科学			●
	防災工学			●
	土木法規・安全管理			●
	火薬学			●
	建築学概論			●
	土木工学演習			●
	特別講義B			●
卒業研究	卒業研究			●

教員スタッフ

（H．11．2現在）

●教授
天野光三　学長(工学博士)
荻野正嗣(工学博士) 道路工学、測量学
椹木　亨(工学博士) 海岸工学、港湾工学
重光世洋(工学博士) 水理学、河川工学
菅原正孝(工学博士) 環境工学、水環境学
玉野富雄(工学博士) 地下開発工学、地震工学
西林新蔵(工学博士) 土木材料、鉄筋コンクリート
森脇良一(工学博士) 構造工学、橋梁工学

●助教授
太田　修　構造力学、構造解析学
佐野郁雄　土木地質学、土質工学
芹生正己　土質力学、土木工学実験
塚本直幸(工学博士) 土木計画学、交通工学
平塚　彰(工学博士) 環境システム、図形科学

●講師
工藤哲男　構造力学演習、設計製図
波床正敏(工学博士) コンピュータ基礎/応用、測量学実習
宮島昌弘　水理学演習、土木工学実験

●助手
大島秀樹　測量学実習Ⅰ、土木工学実験
太田充紀　測量学実習Ⅱ、土木工学実験
大前達彦　測量学実習Ⅰ、測量学実習Ⅱ
金岡正信　測量学実習Ⅰ、土質力学演習
高見新一　測量学実習Ⅰ、土木工学実験
林新太郎　測量学実習Ⅰ、土木工学実験

学園案内、入試案内より抜粋

芹生先生退職記念パーティーのお知らせ

長きにわたり教育と研究に情熱を注いでこられた芹生正己先生が、平成11年3月をもって退職されます。つきましては下記の通り退職記念パーティーを開催いたします。参加ご希望の方はご連絡ください。

開催日時　平成11年5月4日(火)祭日
午後5時00分～

会　場　ホテルグランヴィア大阪
(大阪駅構内)

参加申込先　大阪産業大学土木工学科
■ Tel 0720-75-3001　内線(3700)
■ Fax 0720-75-5044　担当(金岡正信)

※参加のご連絡をいただいた方には、後日ご案内状と　パーティー参加費の振込用紙を送付いたします。

学園便り！ GAKUEN DAYORI.

◆拓本が寄贈される

平成10年10月19日(月)、谷米子さん(大阪拓本クラブ元代表　故谷 為次郎氏)から拓本のコレクションが大学綜合図書館に寄贈されました。

これにともない、11月9日(月)古谷理事長より谷さんに図書館長室で感謝状と記念品が手渡されました（写真)。

寄贈を受けたのは、掛け軸212本、拓本600点、古鏡大鑑（拓本）2冊、雑誌5冊の計819点。寄贈品には、川端康成の「以文会友」や正岡子規、松尾芭蕉などの歌碑の拓本などが含まれています。

◆大学・短期大学部 平成11年度入試

●一般前期入試に6,206人志願（前年度比29%減）推薦入試には7,369人志願

平成11年度大学・短期大学部の一般前期入試が2月1日(月)から6日(日)にかけて本学ほか全国11カ所で行われました。

一般前期入試の志願者総数は、前年度比29%減の6,206人。大学入試センター試験利用入試の志願者総数は、前年度比26.4%（504人）減の1403人。

また、大学・短期大学部の推薦入試が、昨年11月28日(土)、29日(日)の両日、本学、名古屋会場、岡山会場の計3カ所で行われました。

センター試験利用入試の志願者総数は、4年ぶりに大学公募推薦入試が復活したこともあり前年度比6,334人増の7,369人。

学部・学科 ＼ 項目		一般（前期）入試 募集人員	志願者数	合格者数	競争率	センター試験利用入試 募集人員	志願者数	合格者数	競争率
経営学部	経営学科	158	1,164	363	3.2	20	130	92	1.4
	流通学科	161	662	325	2.0	20	331	276	1.2
	計	319	1,826	688	2.7	40	461	368	1.3
経済学部	経済学科	127	1,091	296	3.7	20	220	157	1.4
工学Ⅰ	機械工学科	41	431	130	3.3	6	112	72	1.6
	交通機械工学科	62	511	110	4.6	8	165	83	2.0
	土木工学科	51	315	104	3.0	6	60	47	3.5
	電気電子工学科	43	469	107	4.4	6	108	66	1.6
	情報システム工学科	48	640	166	3.9	6	175	60	2.9
	環境デザイン学科	43	612	128	4.8	6	102	44	2.3
	計	288	2,978	745	4.0	38	722	372	1.9
工学部Ⅱ	機械工学科	19	47	42	1.1	—	—	—	—
	交通機械工学科	45	87	75	1.2	—	—	—	—
	計	64	134	117	1.1	—	—	—	—
短期大学部自動車工学科		60	177	61	2.9	—	—	—	—
合計		858	6,206	1,907	3.3	98	1,403	897	1.6

◆平成10年度就職状況

就職協定廃止後、2年目に入った今年は中小企業も含めて就職活動がより早期化しています。

マスコミで報道されているように、3年生の2月がリクルートスーツの購入時期となり、学期の始まる4月にはエントリーのピークを迎え筆記や面接試験が行われています。5月の連休明けには内々定が出始め、大手企業は6月には内定を終了。昨年は9月以降も追加募集があり長期化していましたが、今年は夏休みを境にピタリと終息し、求人総数は9月時点で昨年比文系30%、理系30%の減少となっています。

学部	学科	卒業予定者数	就職予定者数	内定	内定率（%）	進学希望
経営	経営学科	504 (101)	433 (83)	231 (44)	53.3% (53)	6 (3)
	流通学科	439 (48)	382 (42)	233 (24)	61.0% (57)	6 (3)
経済	経済学科	505 (92)	403 (79)	224 (36)	55.6% (46)	7 (0)
工学Ⅰ	機械工学科	154 (3)	124 (3)	92 (3)	74.2% (100)	10 (0)
	交通機械工学科	206 (1)	185 (1)	167 (1)	90.3% (100)	9 (0)
	土木工学科	163 (9)	146 (7)	119 (5)	81.5% (71)	16 (5)
	電気電子工学科	159 (14)	132 (14)	109 (9)	82.6% (64)	14 (0)
	情報システム工学科	139 (17)	121 (15)	82 (9)	67.8% (60)	15 (1)
	環境デザイン学科	152 (56)	126 (49)	47 (21)	37.3% (43)	14 (5)
工学部Ⅱ	機械工学科	57 (1)	43 (1)	30 (1)	69.8% (100)	1 (0)
	交通機械工学科	168 (1)	131 (1)	96 (1)	73.3% (100)	3 (0)
短期大学部	自動車工業科	385 (15)	234 (7)	175 (7)	74.8% (100)	105 (3)
合計		3,031 (358)	2,406 (302)	1,605 (161)	65.2% (53)	206 (20)

（　）内は女子で内数

◆短大ソーラーカー

●「ドリームカップ'98鈴鹿」で初の総合優勝
W.S.R. in　Akita に続き2週連続

短期大学部のソーラーカー「OSU Model S」が、平成10年8月7日(金)～9日（日）、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキット国際レーシングコースで行われた『ソーラーカー・国際自動車連盟(FIA)杯第7戦ドリームカップ鈴鹿'98』のドリームクラスで参加4年目に、初の総合優勝。

8日の決勝第1ヒートで55台中3位につけた「OSU Model S」は、9日の決勝第2、3ヒートを終始安定した走りで逆転、計75周(平均時速52.96km/h)を走破。

レース終了後、監督の藤田 久和助手（S52交機）は「優勝にたどりつくまでが長かった。日野優志君(交機4年)と豊嶋義隆君(機械工学専攻前期1年)がチームの中でよくがんばってくれました。これで来年オーストラリアで開かれる国際大会に弾みがつきます」と嬉しそう。なおレースの模様は、平成10年9月5日(土)に日本テレビ系列で放送されました。

●1998 W.S.R. in Akitaでも優勝

鈴鹿のレースに先立ち、7月31日(金)～8月2日（日）に秋田県大潟村で行われた「1998 WSR（ワールドソーラーカーラリー）in Akita」でも3度目の挑戦で初優勝に輝きました。

初日こそ天気に恵まれましたが、「OSU Model S」はステディな走りで周回数30周(約938km)をかさね、見事アメリカのマサチューセッツ工科大学（MIT）など海外強豪5チームを含む計81台の頂点に立つことができました。

また、「OSU Model S」は、平成10年11月からスポンサーでもある（株）シチズンのCMに採用されています。

藤田助手は「今年の11月にオーストラリアで開催される世界大会に出場する予定です。どんなことでもご協力いただける方はご連絡くださいと話していました。

◆学園創立70周年記念式典

●古谷理事長が力強く決意表明21世紀を迎え「魅力ある学園」へ

記念式典は平成10年10月30日（金）午前11時から大阪市内の都ホテル大阪で、ABCラジオ、OBCラジオで活躍中の鏡宏一アナウンサー(フリー)の総合司会でスタート。まず古谷七五三次理事長が立って「式辞」を述べ、つづいて中山英明常務理事・法人本部事務局長から「記念事業経過報告」が行われました。

古谷理事長は、来賓をはじめ出席された皆さんにお礼を述べるとともに、学園の未来の担い手に引き継ぐ基盤作りに専念する心構えにふれ、21世紀を間近に迎え「人づくり」を基本とした「魅力ある学園」に向けての力強い決意を表明。

また記念事業報告に立った中山常務理事は、70年にわたる学園の歩みと事業内容(達成分と進行分)を報告されました。

続いて教育界はじめ政、財界から多数寄せられた祝電披露。最後に募金事業に多大なご協力を戴いた方々に感謝状と記念品が贈られ、1時間余りにおよぶ式典は幕を閉じました。

◆【大学院】経営・流通学研究科修士課程
【大学】経済学部国際経済学科設置認可される

文部省に申請していた大学院経営・流通学研究科流通システム専攻修士課程と大学経済学部国際経済学科の設置が、平成10年12月22日付で文部大臣から認可されました。

流通システム専攻の特色は、流通の環境変化を的確に捉える分析能力、流通の革新に向けての問題解決能力などの想像力を発揮するプロフェッショナルな企業人の育成を理念としています。そして「商品流通研究科目群」、「資金流通研究科目群」、「情報流通研究科目群」の3分野の研究科目群を配しています。

また、社会人に対しては昨年設置の経済学研究科同様に「教育方法の特例」の採用で、柔軟な履修形態を可能とするなど学びやすい環境づくりにも配慮。

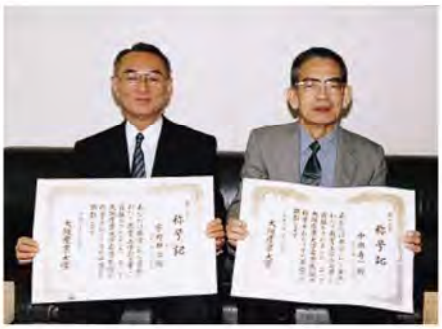
国際経済学科の特色は、経済学の体系的な修得を踏まえながらも、それを越えて進行するグローバル化の現実に即して、「国際地域経済コース」、「国際政策コース」、「国際コミュニケーションコース」の3つの履修コースを編成。

養成する人材像は、経済のグローバル化、文化のグローバル化、社会のグローバル化に対応した幅広い教養・専門知識・情報処理能力、語学能力を備えた実践的職業人・社会人を目指しています。

◆元経営学部教授中瀬、宇野両先生に『名誉教授』の称号が贈られました

経営学部に32年間勤務され、昨年3月退職された中瀬寿一・元教授(写真右)と36年間勤務され同月退職、現在特任教授の宇野耕治・元教授(写真左)のお二人に、長年にわたる教育、学術上の貢献を称え、平成10年7月24日付で「大阪産業大学名誉教授」の称号が贈られました。

商学博士である中瀬先生は、昭和29年大阪市立大学卒業、昭和41年本学経営学部専任講師として就任。昭和42年に助教授、昭和45年に教授に昇格、この間、図書館長、経営学部長を歴任されました。



宇野先生は、昭和25年関西学院大学大学院を修了、昭和37年大阪交通短期大学専任講師として就任。昭和39年同助教授、昭和49年大阪産業大学教授に昇格。この間、教務部長、経営学部長、図書館長を歴任されました。

支部レポート Report

京都府支部

9/19（土）ホテル京阪で開催

支部設立2年のまだまだ若い支部であり、京都府全域ということもあり、まとまりのない支部ですが、総会出席者を100名以上にしたいと日々努力しています。さて、今回の総会は来賓として大学より藤野事務部長、本部より光岡副会長、美内副会長、福井幹事のご出席いただき、新卒会員5名を含め総勢46名のご参加をいただきました。

総会では活動報告、会計報告、支部役員の追加などの討議を行い、親睦会では全員自己紹介を行い親交を深めました。

（支部長　石丸博史）

大阪中・南河内支部結成総会

柏原市支部が中河内・南河内地域を統合10/4（日）サンヒル柏原で開催

柏原市支部を発展させ、地域を広げる提案が実を結び、東大阪市、八尾市、柏原市、藤井寺市、羽曳野市、富田林市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村の10市町村を統合した「大阪中・南河内支部」として設立総会が開催となりました。

学園より、中山常務理事、藤野部長、本部より池田会長、大植、美内両副会長がご出席いただきました。まず吉内柏原市支部長より柏原市支部の発展的解消、その日の設立総会の経過報告。その後支部の会計報告などを行い承認されました。

その後吉内氏が議長となり支部設立総会がスタート。新支部長にも吉内氏が選出され、その他、役員選出、会則審議と進行、すべて承認の後懇親会に入りました。

（副支部長　力石　卓朗）

● 以下役員布陣です。

役職名	氏　名	卒年　学科
支　部　長	吉内　秀徳	S43経営
副支部長	松田　　始	S45経営
	力石　卓朗	S49機械
	杉野　敬二	S53機械
会　　計	小沢　　健	S53機械
	江藤　康弘	S63機械
監　　事	青木　康充	S39交短経
地区役員	各地区1～2名	
相　談　役	村上　末治	S26交短運
	池田　義隆	S39交短機
顧　　問	山西　敏一	柏原市市長

福井県支部

10/24（土）福井駅ビルにて開催

平成9年度はロシアタンカー原油流出事故で中止せざるをえなかった福井県支部総会。今回は、学園より中山常務理事、校友会本部より池田会長、森本幹事、今村幹事4名のご出席をいただき開催することができました。

総会では、支部長の挨拶の後、中山常務理事、池田会長より、大学の近況、創立70周年記念事業のお話をうかがいました。中山常務理事のお話には、大学運営に取り組む強い意気込みが、また池田会長のお話には、校友会発展の活発な行動がうかがわれ、参加者全員心打たれるひとときとなりました。さらに、支部活動報告、会計報告と続き、今後、役員連絡網をより明確にして、支部活動を活発化し、毎年支部総会を行うことを誓い合い総会を終了、親睦会へと移りました。親睦会でのエピソードでは、なんといっても福井県出身であり、当支部の顧問「皆川先生」の福井県自慢。一気に会場が盛り上がり、和気藹々の楽しいひとときを過ごすことができました。

また親睦会では、70周年記念募金箱に、皆さんからたくさんの募金をいただきました。ありがとうございます。親睦会のフィナーレは「越前おろしそば」で舌鼓。次回の再会を約束して閉会となりました。今回参加できなかった皆さん、次回にはぜひ参加してください。

（副支部長　西水重康）

大分県支部

10/31（土）ホテル清風で開催

大分県支部の集まりに出席してくださるメンバーはいつも同じ顔ぶれ。このことから、「一人でも新しいメンバーが参加できれば」と毎年開催しています。今回は、総勢13名。本部より、中山副会長、峠代議員にご出席いただきました。総会では事業・会計報告を承認し、役員改選で監事の溝口展男氏が相沢栄氏（S52機械）に交代しました。その他母校の受験生募集ポスター貼り、総会出席者の増員などについて討議しました。そして懇親会も大いに盛り上がりました。（支部長　川辺謙吾）

大阪北河内支部

11/1（日）大学構内14号館10階ラウンジで開催

今回支部総会を行ったのは、大学構内14号館10階ラウンジ。学園より中山常務理事、副会長の大植氏にご出席いただきました。総会では平成9年度活動報告、会計監査報告が行われ承認されました。親睦会の福引き大会では、岡野和也さんが見事一等賞に輝き、電気ポットを手中におさめました。大阪北河内支部は、校友会員、並びにその家族の皆様と親睦を深めるため、ドシドシ新しい人を加えて支部活動ができればと願っています。

（支部長　金井章）

各支部の中でも古くより活発に活動している北河内支部。支部総会はもとより、春には大学キャンパスを借りての花見懇親会、5月は大学職域や現役学生を交えてのソフトボール＆バーベキュー大会。また、師走には1年をしめくくる餅つき大会などを行っております。学生時代には実現できなかった大勢の先輩、後輩の知り合いも作ることができ、会員のみならず、家族間のふれあいも深めています。今後、ますます親睦を深め、発展できればと考えています。　（S48経営　岡野和也）

大阪泉州支部

11/15（日）、「大阪泉州支部」結成総会！ 朝日プラザホテル・アミュニティー堺にて開催

大阪泉州支部は11市5町（堺市、松原市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、泉北郡忠岡町、泉南郡熊取町・田尻町・岬町、南河内郡美原町）から成り、会員数3,200名。

発起人代表の加藤豊氏（S43経営）が支部発足の経過説明を行ない、犬嶋和男氏（S43機械）より支部会則と支部役員の提案があり承認されました。またご出席いただいた池田校友会会長、中山常務理事のご祝辞をいただき華を添えることができました。

次回も多数の方に参加していただけるよう、楽しい総会にしたいと考えています。

（支部長　加藤 豊）

●支部役員は次の通りです。

役職名	氏　名	卒年　学科
支　部　長	加藤　豊	S43経営
副支部長	川端　武雄	S39交短自
	野呂　豊	S43経営
	犬嶋　和男	S43機械
会　計	宇崎　敏明	S60土木
会計監事	木村　竹彦	S44機械
	國下　憲男	S51土木
地区役員	大野　富久	S45交機
	五味　健二	S58機械
	竹中　一	H2土木
顧　問	藤野　清久	大阪産業大学事務部長

鹿児島県支部

11/21（土）グリーンホテル錦生館で開催

今回は、初めての会場で、また行事や日程の関係で、参加者も思いのほか少ない（7名）総会となりました。本部よりご出席いただいたのは副会長大植氏、幹事今井氏のご両名。総会では、平成10年度経過報告、会計報告、そして役員改選が行われました。

総会後の親睦会、2次会まで全員参加で、昼は桜島をバックに錦江ゴルフ場でゴルフを楽しむこともできました。昨年10周年を迎えた鹿児島県支部。一段落したのか、会員の関心が今一つといった感じです。来年はもっと多くの方も参加していただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

役員改選は全員留任。今までの幹事有馬氏の役職を会計・事務局とします。支部幹事に真形吉宗（S49土木）、別府治樹（S51土木）、菊永末彦（S53経営）の3人を補充しました。

（支部長　赤崎一弘）

徳島県支部

1/17（日）リゾートホテルモアナコーストで開催

徳島県支部には「同じ卒業生なら参加せなソンソン」の阿波踊りスピリッツが浸透しています。今回は本部より副会長光岡氏、代議員平野氏のご出席いただきました。総会では決算並びに監査報告。また平成12年度の役員改選に向けて活発な討議が行われ、会員からは「県内中央、県北、県西、県南に支部を作ってはどうか」、「阿波踊りの連絡会を組織し、本部総会などでＰＲする」などという活発な意見をいただきました。役員の平均年齢は42歳。若々しい支部らしく、とても前向きに頑張っています。

（支部長　筒井健一）

大学支部

1/23（土）天満橋ＯＭＭ「東天紅」で開催

会員参加者30名（会員数96名）。総会は私（支部長）、本部池田会長の挨拶に続き、大植義夫氏を議長に選出。支部活動報告・平成9年度会計報告・同監査報告を行い拍手で承認されました。さらに、3月末現役員の任期満了に伴い次期役員選出を行いました。そして、現役員から推薦した候補者の信任投票が行われ全員信任されました。

懇親会は来賓の中山常務理事の挨拶、天野学長の乾杯のご発声でスタート。学園内に在職しているものの、このような機会でないとお互いなかなか“校友の縁”を温め合うことも少なく、あちこちで笑いとグラスの音がする光景が見られました。

宴盛り上がったところで余興です。アイデアマンで名司会の椿野勝己氏が登場しました。競馬になぞらえて、新旧支部長の2頭立てによるクイズ「母校愛ステークス」が出走。全員勝馬投票券を投票するもので、両者どちらが母校に関することを知っているかを当てるゲーム。当選者は、歯磨き粉からファミコンまでバラエティ景品を引く権利を獲得することができます。引っ張った紐先には景品が結ばれています。ちなみに最高景品「任天堂64ファミコン」は、校友会事務局福田氏の手に引き寄せられました。

そんな楽しい懇親会も、藤野大学事務部長の“中じめ”にて盛会裏に閉会。5月には恒例の大阪北河内支部との懇親ソフトボール大会が、また、来春の支部総会は、新役員の方々で企画される予定です。皆様倍旧のご支援をお願いいたします。（支部長　松田充生）

●次期役員は次の通りです。

役職名	氏　名	卒年　学科
支　部　長	兎澤　健三	S43機械Ⅱ
副支部長	上田　博之	S51交機Ⅱ
	嶌崎　敬司	S61経営
	澤井　猛	S62機械
会　計	菱田　英男	S43機械
	川口　将武	H6　環境
監事（再任）	高浪　洋一	S39交短自Ⅱ

これからの 支部総会開催のお知らせ

北海道支部

6/26（土）旭川温泉で北海道支部総会開催。
連絡先／副支部長・筒淵勝政（S39交短自）。
TEL／0166-48-9837

台湾支部

台湾支部設立総会を開催。
日　時／平成11年（民国88年）
　　5月16日（日）12:00～
場　所／中華民国　台北市内
連絡先／発起人代表　戴　肇洋（Day Jaw-Yang）
台北市文山区忠順街一段41巻3弄19号4F
TEL&FAX／（02）2234－3670
または、校友会事務室

支部結成にご尽力を!!

校友会では、支部のない地域や職域に支部を結成し、校友の輪が広がることを願っています。新しい支部結成にご尽力していただける方は、事務局までご連絡ください。

私たち、がんばりました

跆拳道部

世界学生選手権大会に、西浜聡（経営4年）出場
◆ 第6回世界学生テコンドー選手権大会
（11/24〜28　メキシコ・サンマニヨ）
9/13、日本代表選手選考競技会（東京リバーサイドスポーツセンター）で、フライ級優勝した本学跆拳道部主将の西浜聡（経営4年）選手は、日本代表選手として出場。大会では、1回戦に地元メキシコの強豪選手と対戦、メキシコ選手への地元応援チーム大声援の中、西浜選手は大健闘の上、惜敗。

サッカー部

創部以来初の1部昇格を決める
◆ 関西学生サッカー秋季リーグ戦
（9/13〜10/31　鶴見緑地球技場他）
2部Bブロック優勝（6勝1負2分）
[勝]　大阪経済法科大学、甲南大学、帝塚山大学、
　　竜谷大学、神戸大学、大谷大学
[負]　京都大学
[引き分け]　奈良産業大学、大阪学院大学
（11/8）
2部1，2位決定戦
産大0－1関西外語大学に惜敗
（11/14、11/22）
1,2部入れ替え戦
1回戦　産大2−0天理大学（1部9位）
2回戦　産大3−1天理大学、
2試合合計5−1で1部昇格

バスケットボール部

[男子]　1部リーグへ復帰
◆ 平成10年度関西学生バスケットボールリーグ戦
（9/6〜10/10関西大学体育館他）
2部リーグAグループ7戦 全勝1位
結果、A、B両グループを合わせた
2部リーグ順位決定戦、2戦2勝。1部へ復帰。
◆ インカレチャレンジマッチ
（10/20、10/23なみはやドーム）
奈良教育大学（4部1位）に勝利。
同志社（1部8位）に敗退。インカレ出場ならず。
[女子]　2部リーグ残留
◆ 関西女子学生バスケットボール・リーグ戦（2部Bグループ）
（8/25〜10/3なみはやドーム）
2部リーグBグループ1勝6敗。
3部1位と入替戦勝利、2部に残留。
◆ 秋季トーナメント大学
（11/1〜8なみはやドーム他）
1、2回戦夙川女子短大、滋賀大学に勝利。
3回戦で成蹊女子大に敗退。

アメリカンフットボール部

1部リーグ残留を死守
◆ 関西学生リーグ戦
（9/5〜11/23阪急西宮スタジアム、他）1勝6敗7位
[勝]　同志社大学
[負]　京都大学、近畿大学、関西学院大学、立命館大学、
　　関西大学、神戸大学
よって1・2部入替戦へ出場。
（12/12長居球技場）
1・2部入替戦 産大9−1大阪大学　1部リーグ残留。

女子ラクロス部

2部昇格決定
◆ 関西学生ラクロスリーグ戦
（8/25〜11/14住之江グランド他）
3部リーグDブロック優勝（4戦全勝）
対戦校：京都橘女子大学、大阪国際大学、流通科学大学、大阪大学
2部昇格決定及び3部優勝決定戦
産大15−4京都大学、産大15−4大阪教育大学　2部昇格。

男子ラクロス部

◆ 関西学生ラクロスリーグ戦
（8/30〜10/24舞洲グランド他）
2部リーグAブロック4勝3敗4位

スキー競技部

全日本で2部へ昇格
◆ 第72回全日本学生スキー選手権大会
（1/12〜17秋田県鹿角市花輪スキー場）
男子3部（30校）、ノルディック・クロスカントリー・アルペンの各競技、リレー5位（11点）。
合計33点を獲得。総合成績10位。2部へ昇格。

バレーボール部

◆ 関西学生秋季リーグ戦
（9/6〜10/4各大学体育館）
3部（8校）、4勝3敗　3部残留
勝：流通科学大学、京都大学、滋賀大学、大阪大学
負：関西大学、大阪教育大学、同志社大学
◆ 全日本大学選手権大会
（10/26〜11/1東京体育館）
グループ戦　産大1−2茨城大学
敗者復活戦　産大2−0成蹊大学
トーナメント　産大0−2仙台大学

バドミントン部

女子2部昇格、男子3部残留
◆ 関西学生秋季リーグ戦
（9/15〜28各大学体育館）
男子3部　2勝3敗4位　3部残留
女子3部　4勝1敗2位　2・3部入替戦出場。
2・3部入替戦
産大3−0大阪大学　2部昇格。

陸上競技部

◆ 第60回関西学生対抗駅伝競走大会（予選）
（9/18長居公園周回コース）
出場25校、総合4位。本戦出場権獲得。
◆ 本戦11/14〜15丹後半島コース80.5km8区間
出場18校16位。
シード権獲得は不可。
◆ 第35回関西学生学年別選手権大会
（11/4〜7尼崎陸上競技場）
走幅跳（3・4年の部）山下大輔（環境3年）2位
走幅跳（2年の部）黒川洋嗣（経営2年）5位
1500m（1年の部）原田憲（交機1年）5位
1500m（3・4年の部）廣瀬耕司（経営3年）6位

弓道部

3部に昇格
◆ 関西学生弓道リーグ戦
（9/20〜10/18本学弓道場）
4部Aブロック優勝（4勝）奈良大学、京都教育大学、京都学園大学、大阪外国語大学
（11/1）リーグ順位決定戦　1位。
　　2位帝塚山大学、3位滋賀大学
（11/8）3・4部入替戦
　　産大110−79京都産大　3部昇格。
辻本元威（電気3年）選手が、個人的中率88.5%（52射46中）で5位入賞。
11/22〜23に伊勢神宮弓道場で行われた「第44回東西学生弓道選抜対抗試合」に西日本代表として出場。

剣道部

全日本学生優勝大会に出場
◆ 第46回関西学生優勝大会（団体）
（9/6大阪市立中央体育館）
1回戦　産大5-1分−1京都学園大学
2回戦　産大5-1分−1桃山学院大学
3回戦　産大1-5分−1天理大学
準々決勝　産大2-2分−3神戸大学
全国大会への出場権を獲得。
◆ 平成10年度全日本学生優勝大会
（10/25大阪府立体育館）
1回戦　産大1−4分−2青山学院大学で敗退。

ラグビー部

◆ 関西大学リーグBリーグ（10校）
（9/27〜12/6関西大学グランド他）
本学は1勝8敗　9位　入替戦出場
[勝]　大阪商業大学
[負]　大阪市立大学、関西学院大学、天理大学、大阪教育大学、
　　関西大学、甲南大学、神戸大学、京都大学
（12/13）Bリーグ入替戦
産大45-13大阪府立大学　Bリーグ残留。

硬式野球部

◆ 阪神大学野球秋季リーグ戦（6校）
（9/3〜10/12万博グランド他）
産大ｖｓ姫路獨協大学1勝2敗　産大ｖｓ経法大学2勝1敗
産大ｖｓ関西外語大学2勝1敗　産大ｖｓ大阪体育大学2敗
産大ｖｓ天理大学1勝2敗　4位

ハンドボール部

◆ 関西学生秋季リーグ戦
（9/15〜10/25同志社）
4部 5勝1敗　入替戦出場
3・4部入替戦　産大23-33仏教大学　4部残留。

内燃機関研究部

◆ 第18回本田宗一郎杯
ホンダエコノパワー燃費競技全国大会
（10/10〜11栃木県ツインリンクもてぎ）
参加150チーム　29位　走行距離667.256km//
※競技内容はホンダ4サイクル50ccエンジンを使い、
　1リットルのガソリンで何km走行できるか。

お知らせのページ

平成11年度 校友会総会パーティーのご案内

日時 平成11年11月3日(祝) 場所 大阪産業大学・構内 ●平成10年度（H11年3月卒業）卒業生は無料！

◆校友会員名簿只今編集中です

皆様もご存じの通り、校友会名簿の編集作業を、平成11年10月発行に向けて行なっております。会員の住所などの情報を正確に把握するために、住所未確認者に対する皆様からの情報をお待ちしています。

つきましては、同級生などご存じの方が、住所不明者に掲載されていましたら、同封の連絡カードにて情報のご提供をお願いいたします。また、名簿作成には郵送費など、多くの経費を要しています。お一人でも多くの方のご協力をお願い申し上げます。（同封の振込用紙にてご入金をお願いします。）

なお、名簿作成は前回同様、専門会社（株）サラトに委託して行なっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 発行予定／平成11年10月下旬
- 名簿頒価／6,800円（送料・税込）
- 掲載内容／氏名（旧姓）、郵便番号、現住所 電話、勤務先・電話
- 規　格／B5版・約1,740頁・上製本・化粧ケース入り
- 特　色／写真集・学校沿革・50音順総索引付き

◆ゴルフ大会参加者募集

●案内状希望の方は事務局へ

本年は記念すべき第10回となります。なつかしい教職員の先生方や、校友との久方ぶりの出合いの場。級友4名1組の申し込みも増えてきました。本年も9月中旬頃の開催を予定していますので、日時・場所など詳細は、6月初旬に決定します。参加案内状をご希望の方は、校友会事務局へご連絡ください。

お悔やみ

●松田　徹也氏　平成 8年1月18日逝去（S53交　機）
●吉成　利数氏　平成 9年6月　逝去（S29交短運）
●岡本　忠温氏　平成11年2月 8日逝去（S34交短運）

※岡本氏は本会発足時より本部役員（代議員・幹事）として今日までご尽力していただきました。

会員データー（平成11年1月20日現在）単位：人

●卒業生数	47,866名
●重複卒業生数	662名
●会員数	47,204名
●物故者数	290名
●住所不明者	5,572名
●連絡可能会員数	41,342名

スイート・カップル Sweet Couple

地元商工業発展のために、商工会議所で頑張っています。中西ゼミ、スレッドリバー、同期のみんな。また会えるのを楽しみにしています。

● 中田伸之（H5経営）
［結婚式］平成10年10月10日

● 西崎隆行（H3経営）
［結婚式］平成10年12月25日

● 石尾一浩（H4経済）
［結婚式］平成10年11月3日

● 木戸義徳（H6土木）
［結婚式］平成10年10月24日

● 笹川真也（H8環境）
志保（旧姓中野・H8経済）
［結婚式］平成8年11月

● 宮ノ内泰道（H4経済）
［結婚式］平成10年2月13日

編集後記

次期副会長に選出された岡本忠温氏が急死されたとの訃報。享年60歳。温厚なご性格で副会長として校友会活動にご尽力いただき、ご活躍が期待されていた矢先の出来事に残念でなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、先号の編集後記で述べさせていただいたように、我が大阪産業大学校友会は西暦2000年に30周年を迎えます。杉岡重武氏（S28交短運）から学園や校友会のためにご苦労されたことをお聞きする機会が持てたこと、土木工学科の名物教員である芹生正巳先生が退職されること・・・。時の流れを感じます。後に残る我々は今何をすべきか？　時に流されないためにも、心して考えていきたいと思います。

（編集部長　高見新一）

フリーダイヤル電話を設置 大いに利用して下さい！！

校友会事務室では、会員皆様に電話代を負担させない、フリーダイヤル電話を設置しました。住所変更・その他問合せなどで校友会事務室へ電話される時は、フリーダイヤルでかけていただくと通話料は無料（校友会負担）となります。大いに利用してください。

［フリーダイヤル］0120・84・3040